
第2章 団塊世代の動向・特性

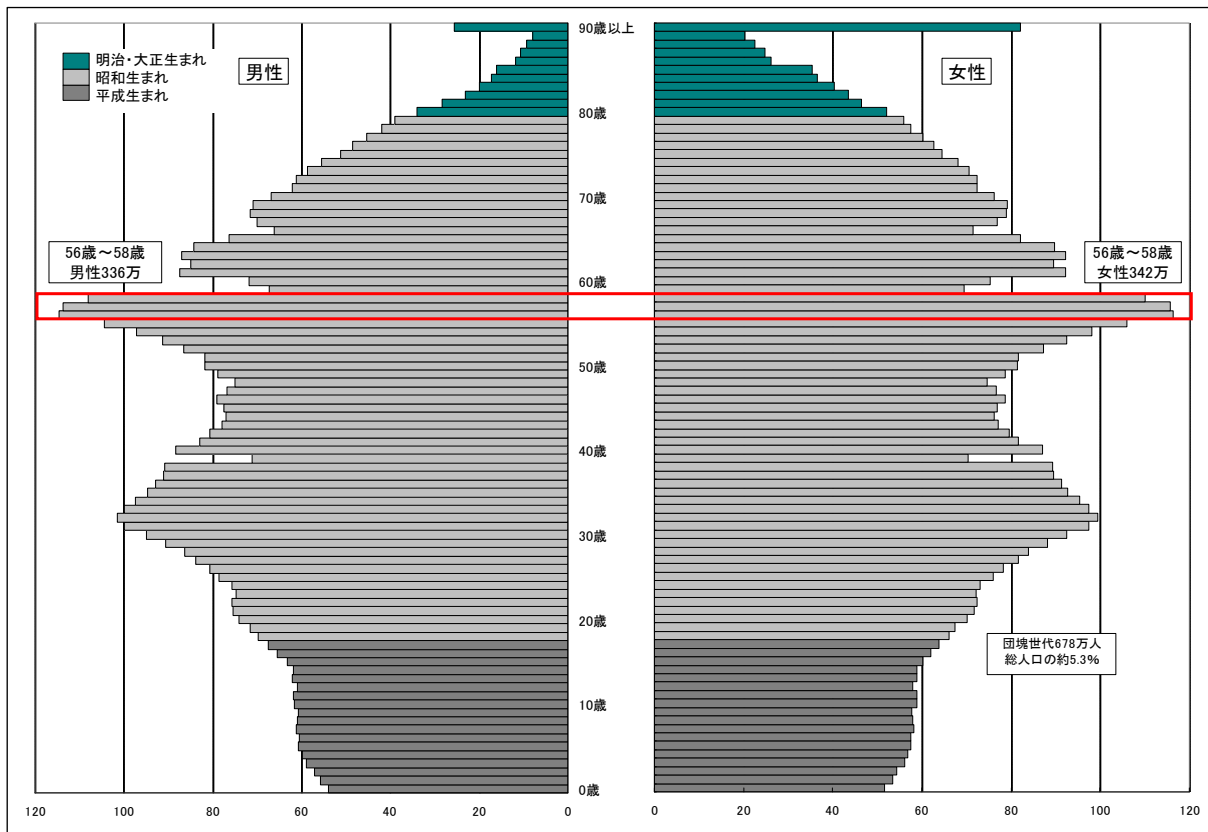
第2章 団塊世代の動向・特性

本調査研究で対象とする団塊世代の置かれている現状や、団塊世代の意識・志向を把握するため、国勢調査、全国消費実態調査などから、人口、世帯、地域分布、就労、家計・資産の状況・傾向について調査し、また、内閣府や自治体の実施した世論調査の結果から、その意識・志向について調査した。さらに、都市部と地方部、男女差によるこれらの結果の違いを分析し、団塊世代の動向・特性を把握した。

1. 人口構成と地域分布

・ 2005 年現在 56 歳～58 歳 (1947～1949 年生) の、いわゆる「団塊世代」の人口は 678 万人で、総人口の 5.3% を占めている。

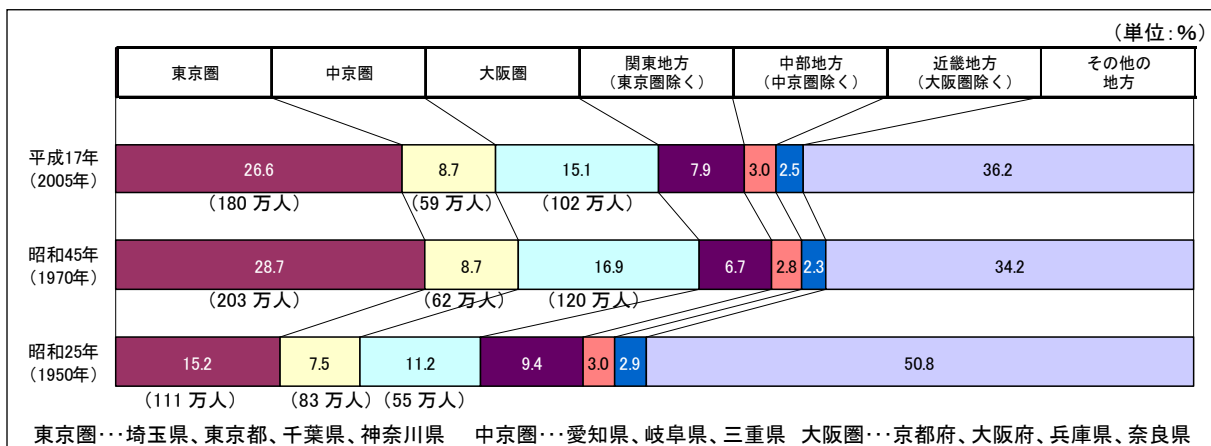
年齢別人口構成



総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第1次基本集計結果(全国結果)統計表」より作成

・ 団塊世代のうち、3大都市圏に居住する人口の割合は 50.4% となっている。1950 年には 33.9% だったが 70 年には 54.3% となっており、60 年代の高度成長期に若者が大量に大都市へ移動したといえる。

団塊世代の居住地域分布の推移

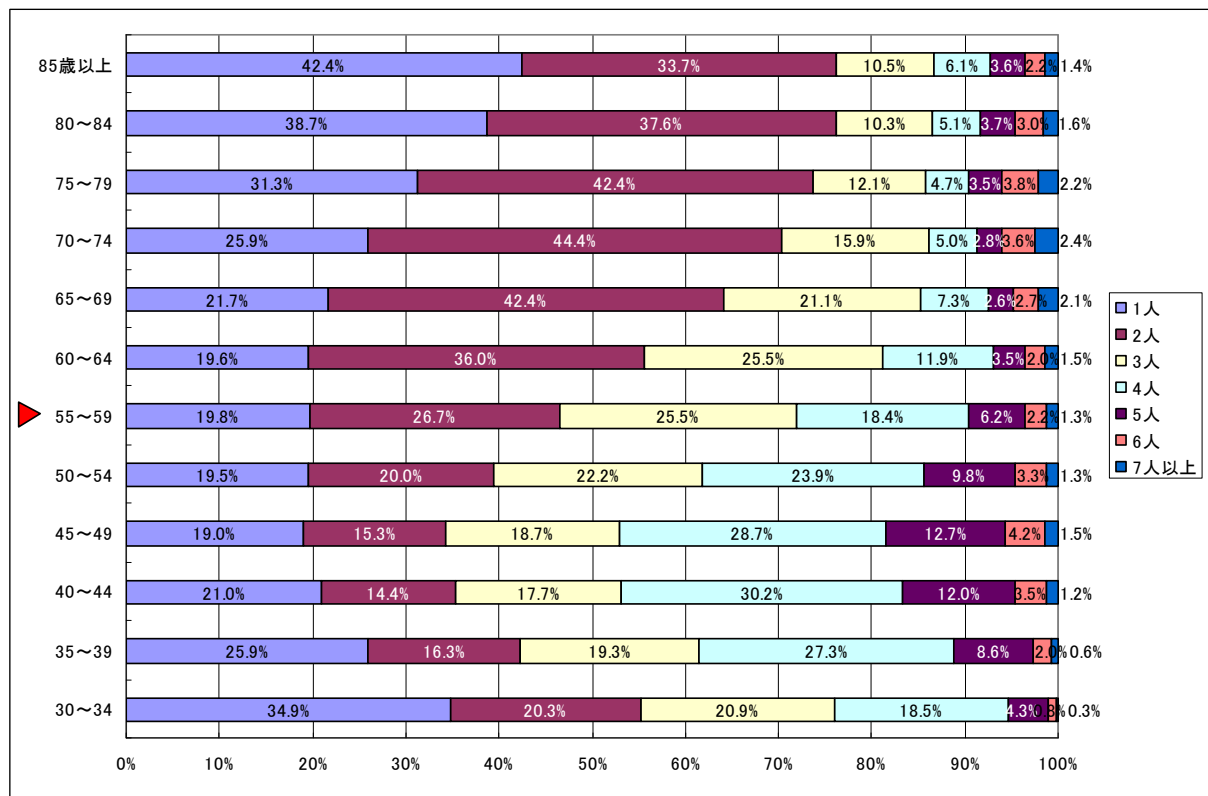


総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第1次基本集計結果(全国結果)統計表」「国勢調査結果の時系列データ」より作成

2. 世帯の状況

- ・ 55～59 歳についてみると、1人世帯～4人世帯の割合がほぼ均衡している。
- ・ 1人世帯、2人世帯の割合は、40歳代を境として世帯主年齢が上がるほど増加している。

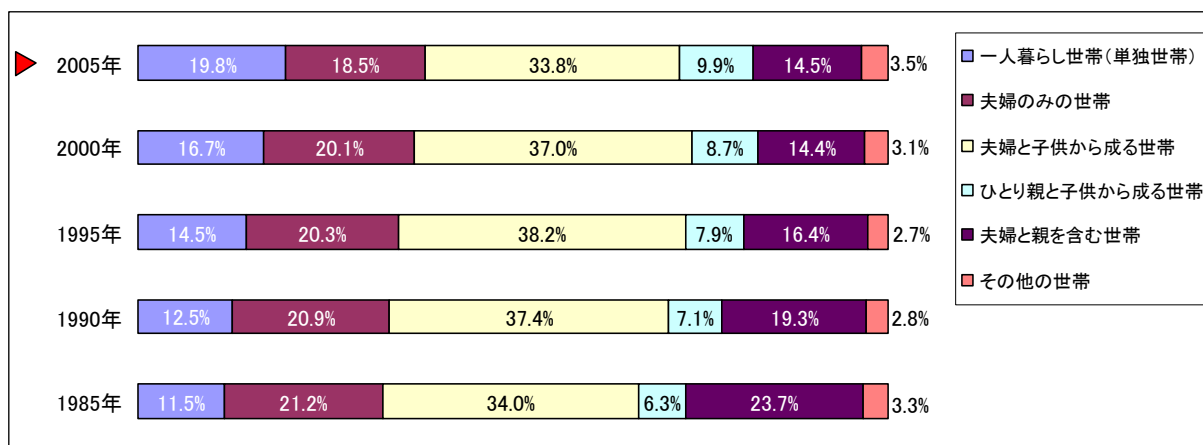
世帯主年齢階層別・1世帯あたりの人員



総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第 1 次基本集計結果(全国結果)統計表」より作成

- ・世帯主年齢が55～59歳の世帯の家族類型についてみると、2005年は「夫婦と子供から成る世帯」（核家族世帯）が約3割（33.8%）と最も多く、次いで「一人暮らし世帯」（19.8%）、「夫婦のみの世帯」（18.5%）の順となっている。また「ひとり親と子どもから成る世帯」（母子家庭あるいは父子家庭）、「夫婦と親を含む世帯」（親との同居世帯）は、1割前後となっている（各9.9%、14.5%）。
- ・1985年から2005年までの20年間の割合の推移をみると、「一人暮らし世帯」は、20年間で1.7倍に増加し、「ひとり親と子どもから成る世帯」は1.5倍に増加している。
- ・一方、「夫婦と子供から成る世帯」は1995年以降減少傾向にある。また「夫婦のみの世帯」も20年間で約1割、「夫婦と親を含む世帯」は約4割減少している。

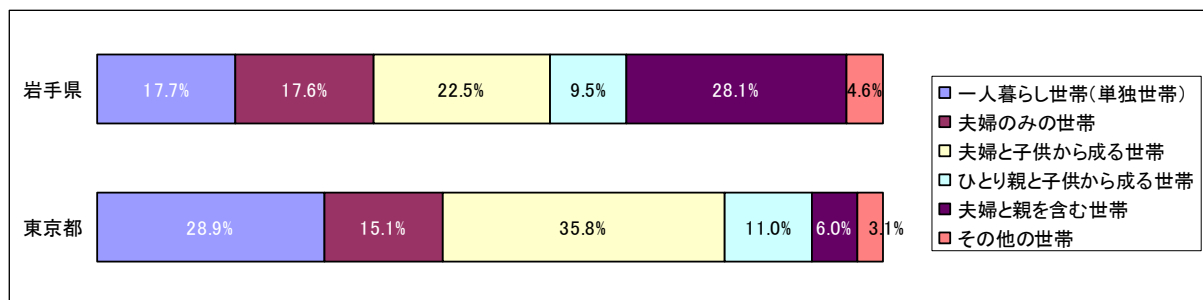
世帯の家族類型の推移(世帯主年齢 55～59 歳)



総務省統計局 HP「平成17年国勢調査 第1次基本集計結果(全国結果)統計表」「国勢調査結果の時系列データ」より作成

- ・地域別にみると、特に「夫婦と親を含む世帯」の割合で地域差が大きく、地方部では全国平均の約2倍（28.1%）となっている一方、都市部では全国平均の半分以下（6.0%）となっている。
 - ・地方部では「夫婦と子供から成る世帯」の割合（22.5%）が全国平均を大きく下回っている。
 - ・都市部では「一人暮らし世帯」の割合（28.9%）が全国平均を大きく上回っている。
- ※国勢調査結果のうち、岩手県の結果を「地方部」、東京都の結果を「都市部」の代表例として、地域特性を比較した。（以下、次節まで同じ）

地域別・世帯の家族類型(世帯主年齢 55～59 歳)

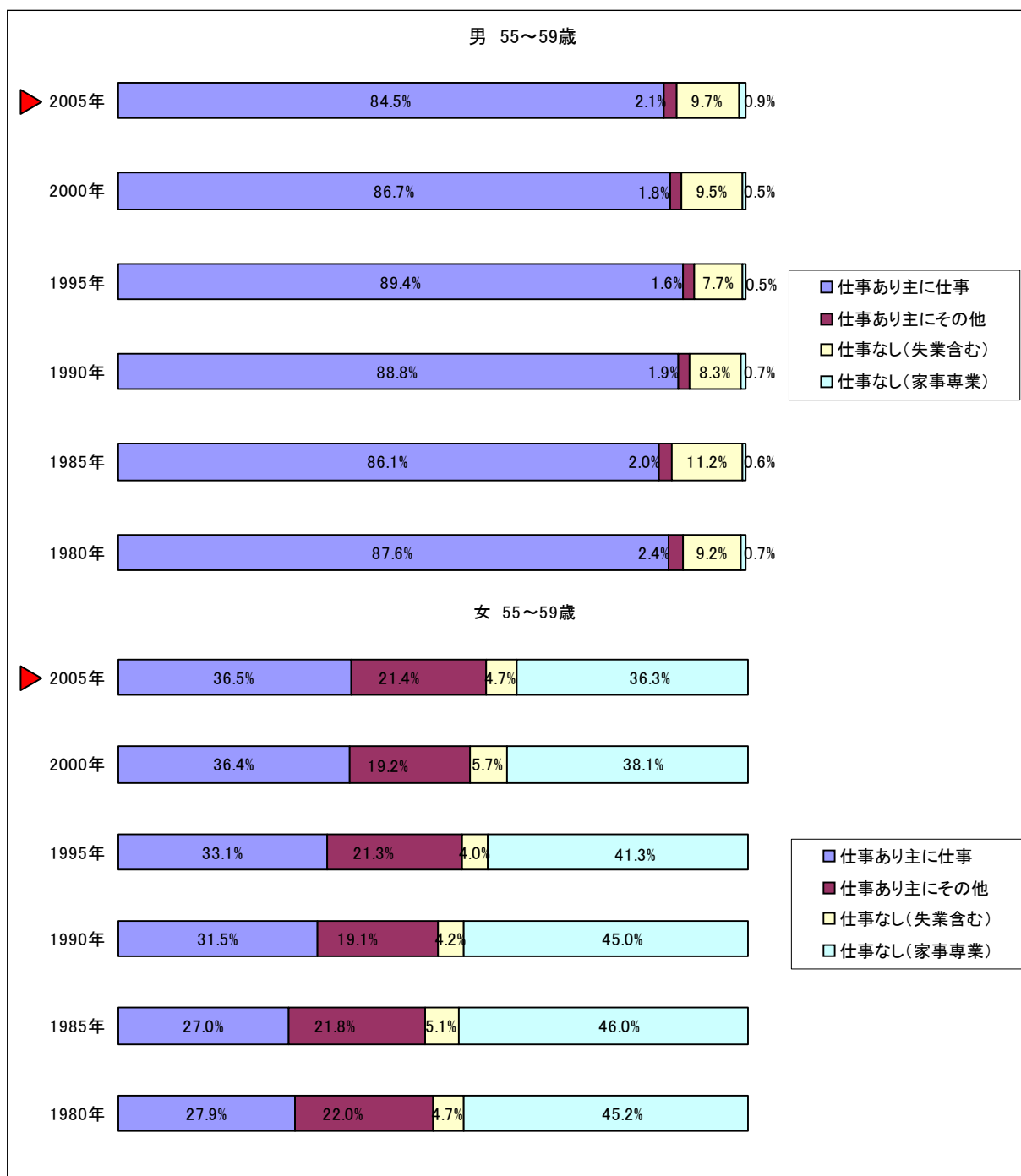


総務省統計局 HP「平成17年国勢調査 第1次基本集計結果(岩手県、東京都)統計表」より作成

3. 就業状況

- ・ 55～59歳の男性の約9割(86.6%)、女性の約6割(57.9%)が仕事をしている。
- ・ 1980年～2005年の25年間に、「主に仕事をする」女性が約1.3倍となる一方、専業主婦の割合は約2割減少している。

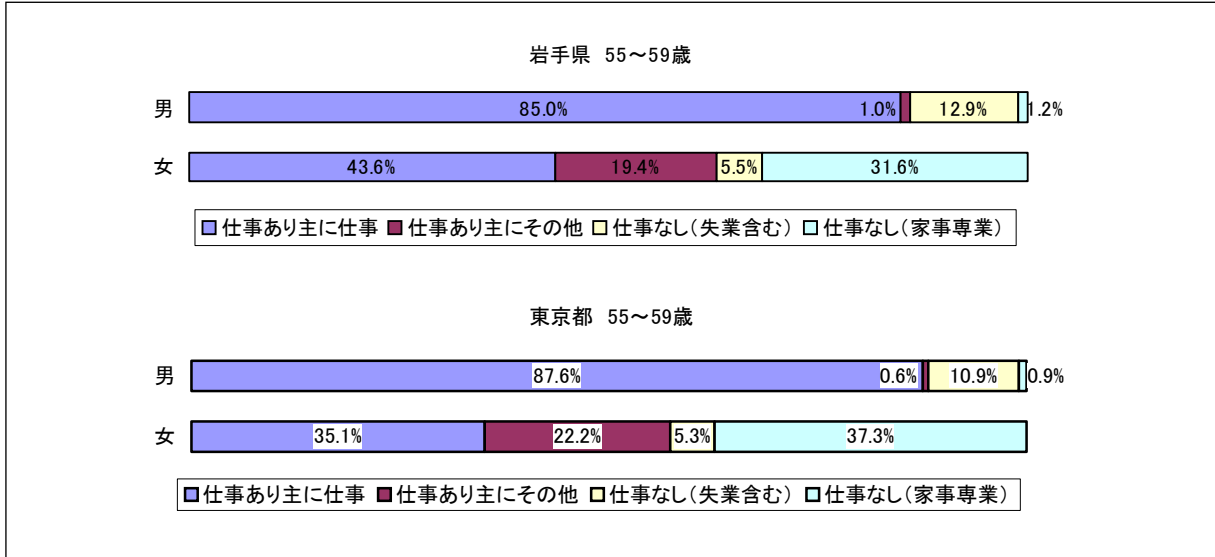
就業状況の推移



総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第2次基本集計結果(全国結果)統計表」「国勢調査結果の時系列データ」より作成

- ・ 55～59 歳の男性の就業率には、地域差は見られない。
- ・ 地方部では主に仕事をする女性の割合は約 4 割(43.6%)となっている。また、都市部では地方部に比べて専業主婦の割合がやや高い(都市部 37.3%、地方部 31.6%)。

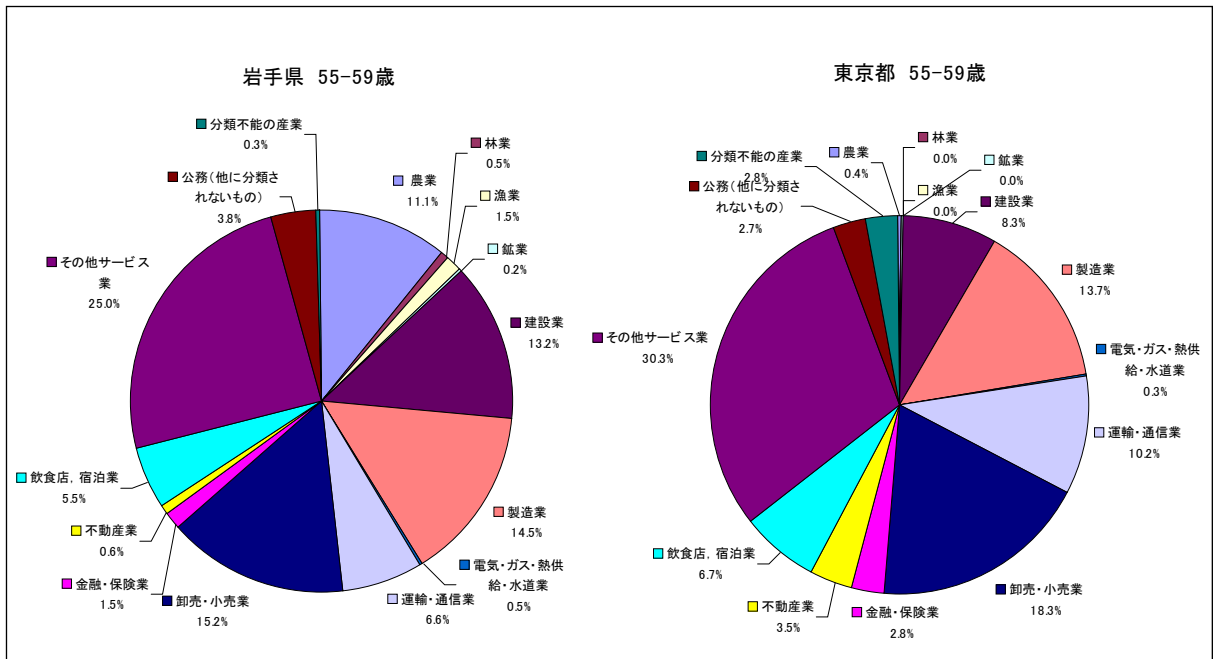
団塊世代の地域別就業状況



総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第2次基本集計結果(岩手県、東京都)統計表」より作成

- ・ 産業別就業状況について地域別にみると、地方部では建設業(13.2%)や農業など第一次産業(13.1%)の割合が高く、都市部ではその他サービス業(30.3%)、卸売・小売業(18.3%)、運輸・通信業(10.2%)の割合が高い。

団塊世代の地域別・産業別就業状況

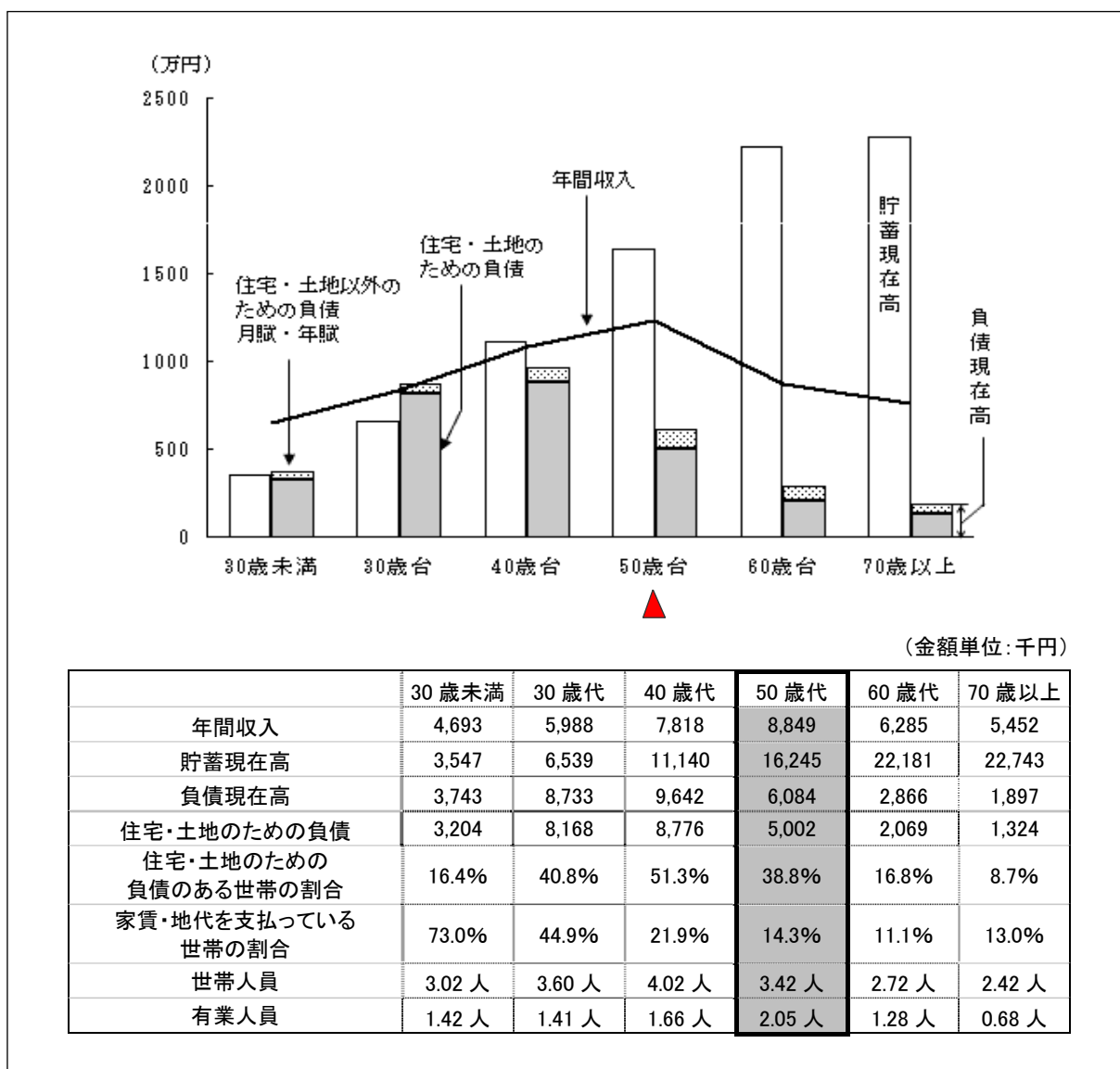


総務省統計局 HP「平成 17 年国勢調査 第2次基本集計結果(岩手県、東京都)統計表」より作成

4. 家計・資産

- ・世帯主年齢が50歳代の世帯についてみると、年間収入は885万円と、各年代の中で最も多い。
- ・貯蓄現在高は1625万円となっている。
- ・負債現在高は608万円で、負債のうち住宅・土地負債残高(500万円)は40歳代の6割弱、また家賃・地代を支払っている世帯の割合は40歳代の約2/3となっている。
- ・子どもの就職などを背景として、有業人員は2.05人と、各年代の中で最も多い。

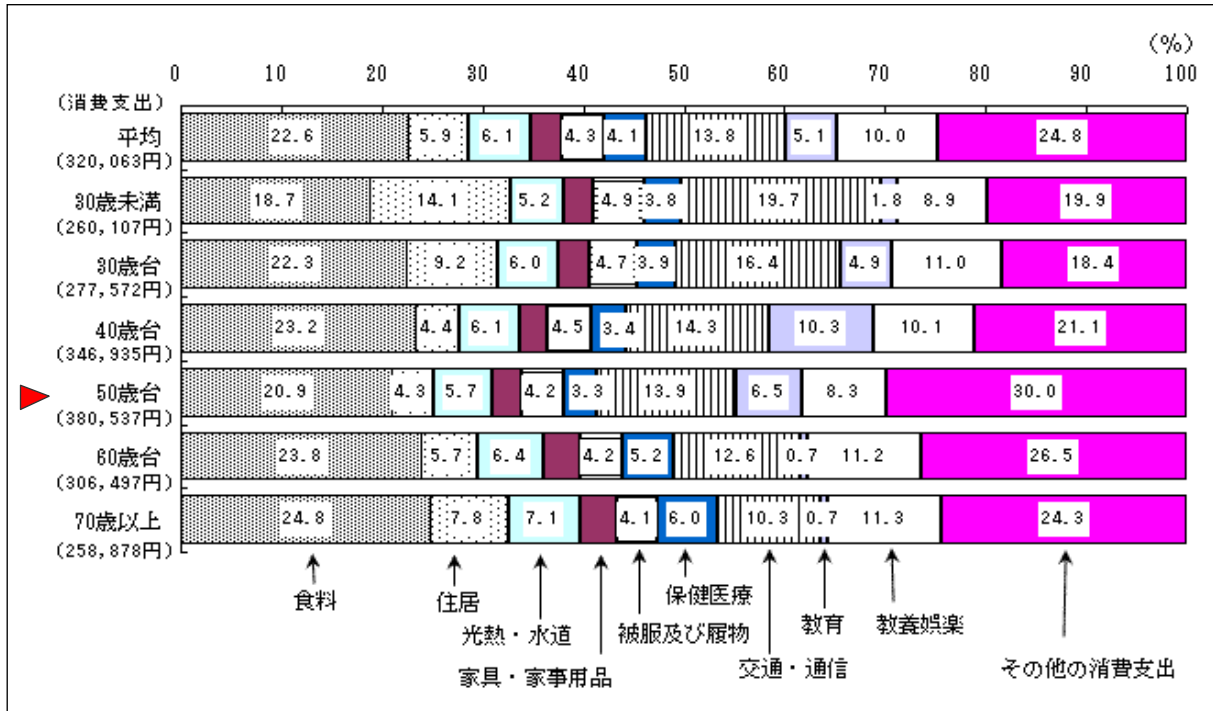
世帯主の年齢階級別・貯蓄現在高及び年間収入(2人以上の世帯)



出展:総務省統計局 HP「平成16年全国消費実態調査結果」

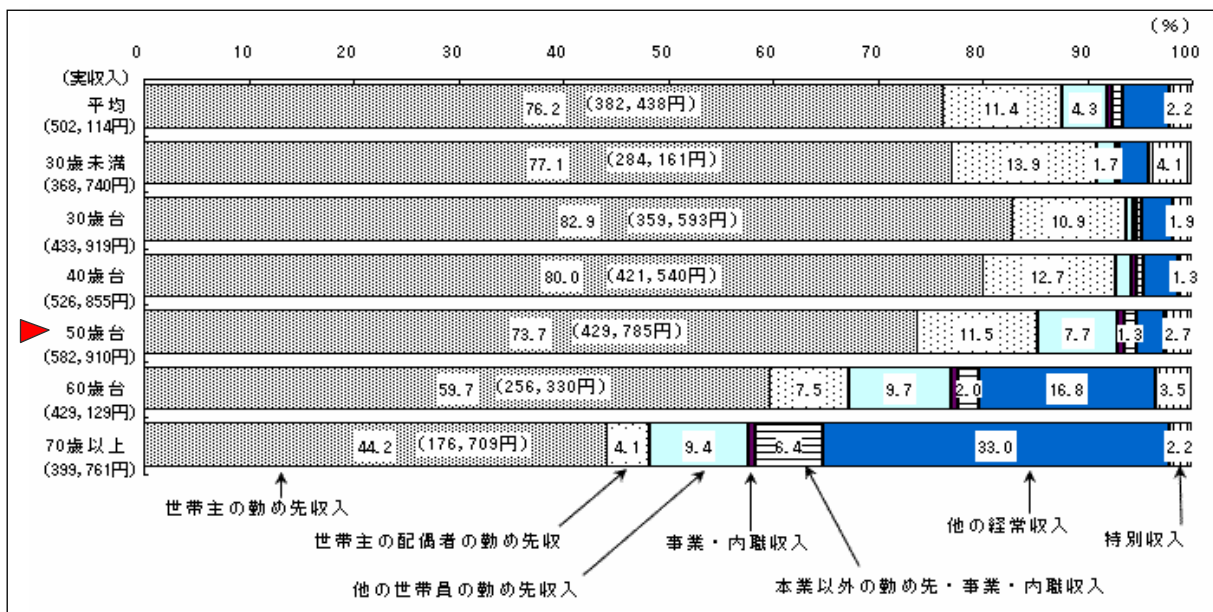
- ・1ヶ月平均消費支出額は、世帯主が50歳代の世帯が約38万円で最も多い。
- ・支出費目のうち住居費の内訳としては、40歳代の世帯に比べて家賃地代が少なく、設備修繕・維持費が多くなっている。またその他の消費支出の内訳は、仕送り金と交際費が大きくなっている。
- ・1ヶ月平均実収入は、世帯主が50歳代の世帯が約58万円で最も多い。その内訳をみると、世帯主の勤め先収入が約43万円で、子どもの就職等による収入(「他の世帯員の勤め先収入」)もある。

世帯主の年齢階級別・1ヶ月平均消費支出の費目構成(2人以上の世帯)



出展:総務省統計局 HP「平成16年全国消費実態調査結果」

世帯主の年齢階級別・1ヶ月平均実収入の内訳(2人以上の勤労者世帯)



出展:総務省統計局 HP「平成16年全国消費実態調査結果」

5. 団塊世代の意識

本節では、全国的な団塊世代の意識とともに、岩手県と東京都でそれぞれ独自に行なわれた調査結果を用いて、地方部と都市部における団塊世代の意識の特性を比較する。

○岩手県調査：「団塊の世代に関する意識調査」（2005年11月 岩手県 回答数 636）

この調査では昭和21年10月2日～昭和24年10月1日生まれを「団塊世代」としている。

○東京都調査：「団塊の世代の活用についての調査報告書」（2004年3月 東京都産業労働局）における「50歳代の就業や生活設計に関する調査」（2003年10～12月に東京都内在住の50歳代を対象に実施 有効回答数 3,226）

この報告書では、昭和22～24年生まれを「団塊の世代」、昭和19～28年生まれを「50歳代」としている。

①居住

- ・二地域居住*への願望があったとした人は、50歳代が約5割(45.5%)と各年代の中で最も高く、すでに実践している人も2.5%いる。
* 都市と農山漁村を往来し、二重生活を楽しむ都市住民の新たなライフスタイル
- ・農山漁村地域への定住の願望があったとした人は、50歳代では約3割(28.5%)と、20歳代に次いで高い。

二地域居住の願望の有無

(単位：%)

年代	ある			ない			すでに実践している	どちらともいえない	わからない
	(小計)	ある	どちらかというところ	(小計)	どちらかというところ	ない			
20～29歳	33.3	4.0	29.3	60.6	21.2	39.4	-	5.1	1.0
30～39歳	35.8	11.9	23.9	60.4	27.7	32.7	-	1.9	1.9
40～49歳	36.2	15.2	21.0	62.3	23.2	39.1	-	1.4	-
50～59歳	45.5	24.0	21.5	48.5	9.0	39.5	2.5	3.5	-
60～69歳	41.4	18.6	22.8	54.9	7.9	47.0	0.9	2.3	0.5
70歳以上	28.7	15.2	13.4	67.1	5.5	61.6	0.6	2.4	1.2

出展：内閣府 HP「平成 17 年 11 月 都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」

農山漁村地域への定住の願望の有無

(単位：%)

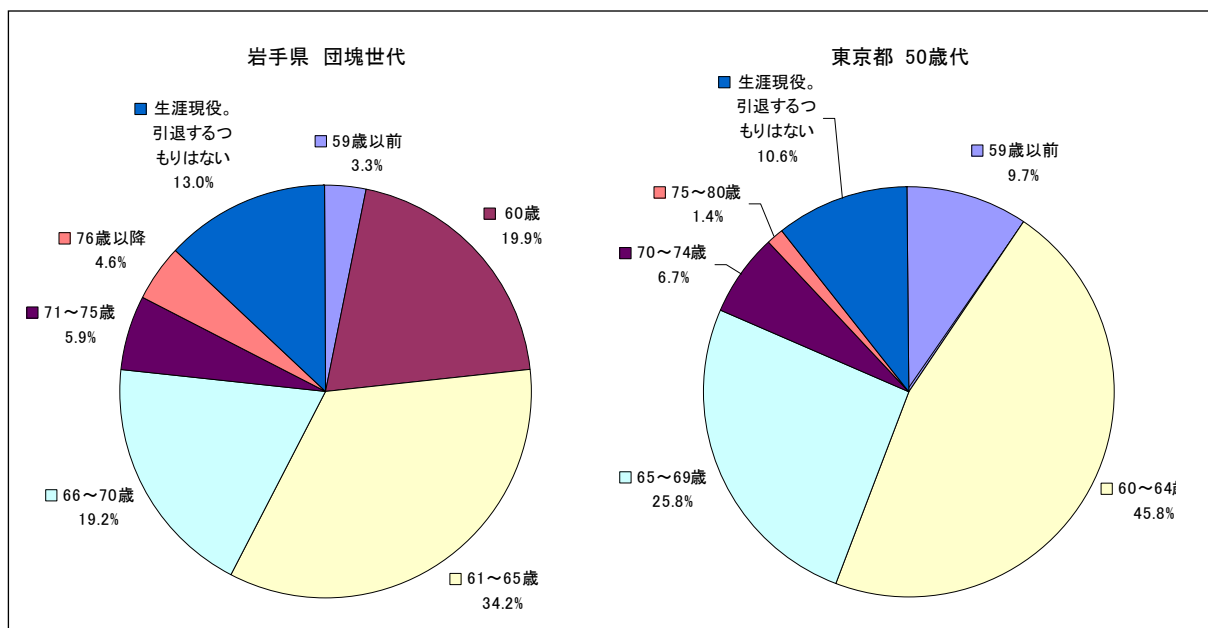
年代	ある			ない			どちらともいえない	わからない
	(小計)	ある	どちらかというところ	(小計)	どちらかというところ	ない		
20～29歳	30.3	8.1	22.2	67.7	15.2	52.5	2.0	-
30～39歳	17.0	5.0	11.9	78.0	25.2	52.8	4.4	0.6
40～49歳	15.9	6.5	9.4	82.6	21.7	60.9	1.4	-
50～59歳	28.5	15.0	13.5	68.0	10.0	58.0	3.0	0.5
60～69歳	20.0	9.3	10.7	77.7	9.8	67.9	1.9	0.5
70歳以上	13.4	7.3	6.1	81.1	6.1	75.0	4.9	0.6

出展：内閣府 HP「平成 17 年 11 月 都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」

②労働・仕事

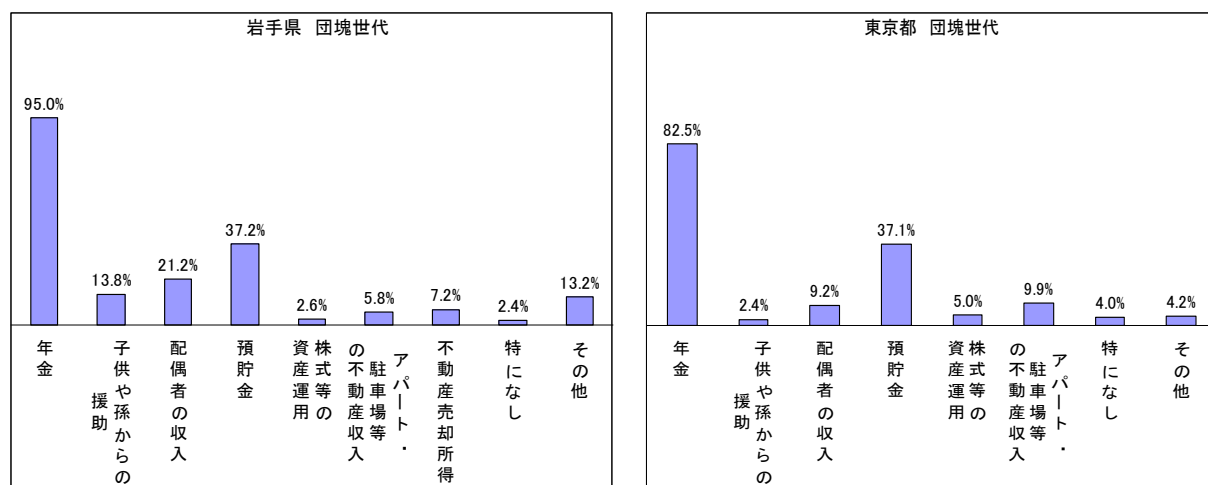
- ・収入のある活動からの引退時期は、地方部(29.7%)、都市部(33.9%)とも、約3割が65歳以降となっている。
- ・都市部では約1割(9.7%)が59歳以前に引退するとしている。
- ・地方部(13.0%)、都市部(10.6%)とも、約1割が生涯現役としている。
- ・引退後の収入見込みについては地方部と都市部に大きな差はなく、いずれも年金、預貯金の順となっている。

収入ある活動からの引退時期



2005年11月 岩手県調査結果、2004年3月 東京都調査結果より作成

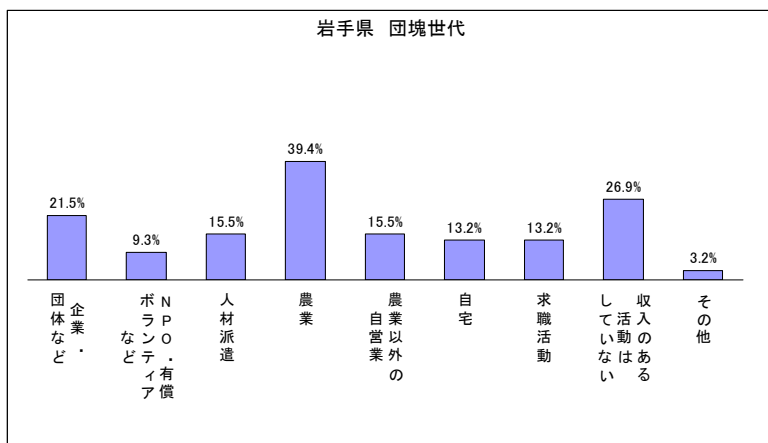
引退後の収入見込み



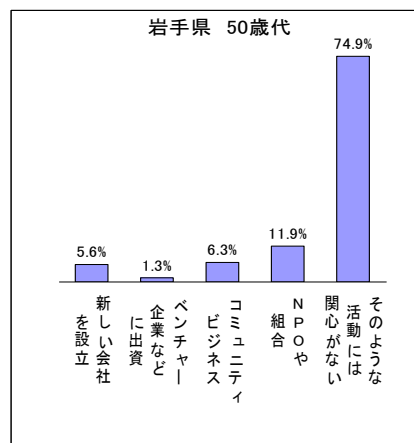
2005年11月 岩手県調査結果、2004年3月 東京都調査結果より作成

- ・ 5年後の働き方として、地方部では農業に携わるものが約4割(39.4%)と最も多い。
- ・ 地方部では起業等への関心がないとする人が7割超(74.9%)となっている。
- ・ 都市部では現在の事業を続けたいとする人(42.3%)、新たに事業を始めたいとする人(39.9%)が、ともに約4割となっている。

5年後の収入のある活動

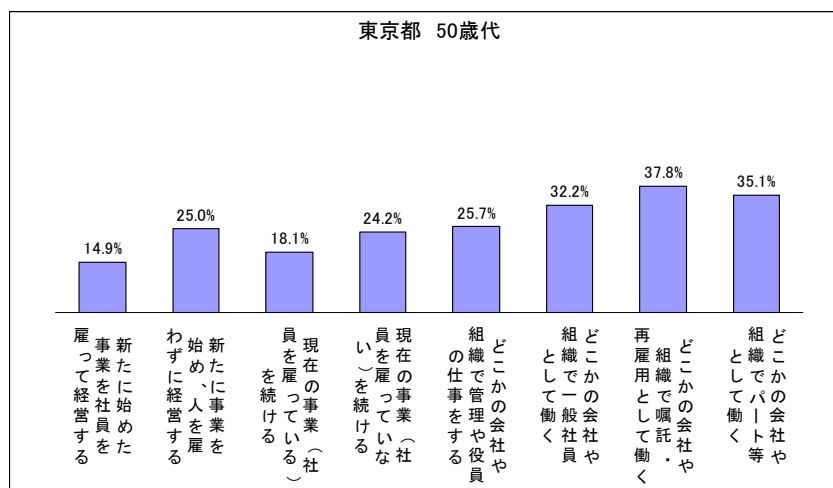


5年後に収入の活動を行うにあたり起業等への関心の有無



2005年11月 岩手県調査結果より作成(2つとも)

5年後の働き方

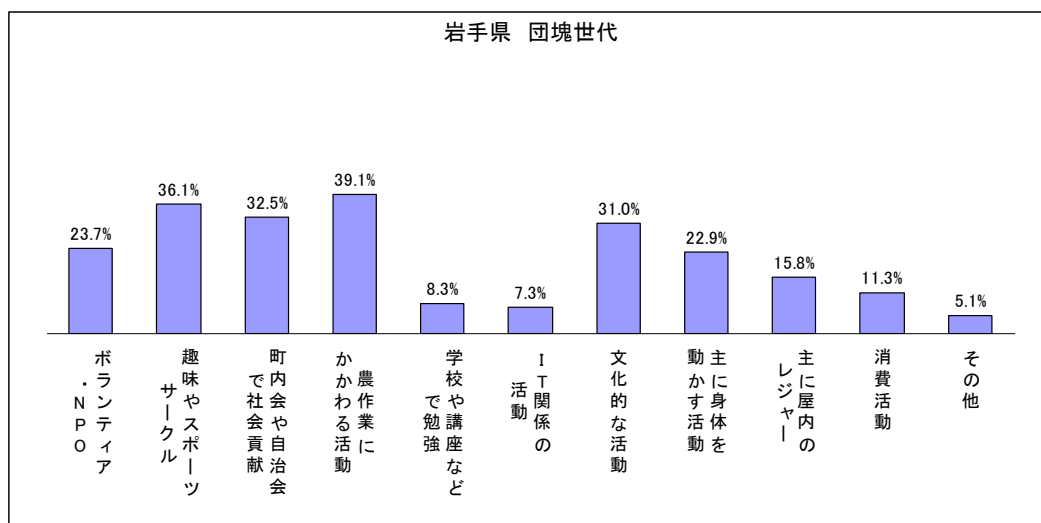


2004年3月 東京都調査結果より作成

③将来の生活

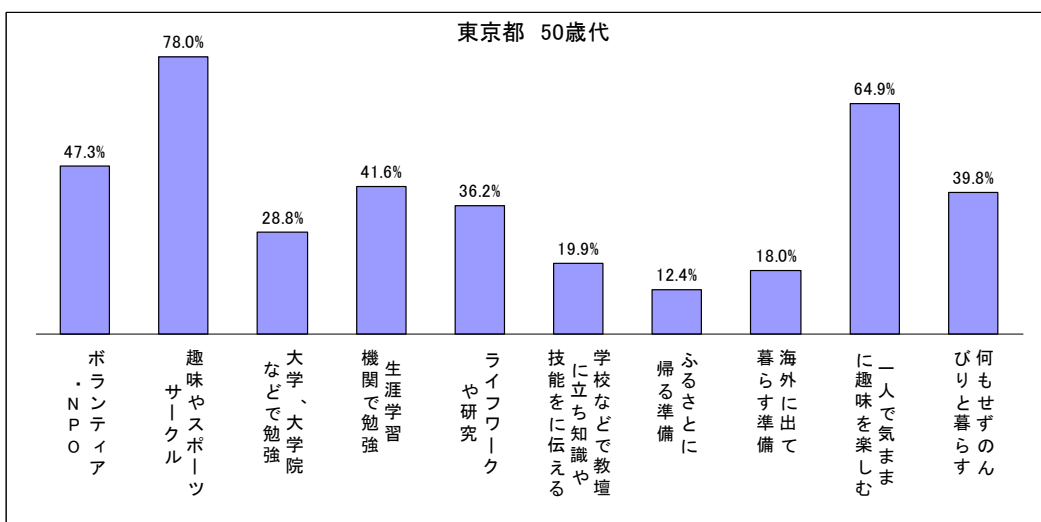
- ・ 5年後の活動として、地方部では約4割が農作業に関わる活動(39.1%)や趣味・スポーツサークル活動(36.1%)、約3割が町内会や自治会での社会貢献活動(32.5%)や文化的活動(31.0%)に関心をもっている。
- ・ 都市部では約8割(78.0%)が趣味・スポーツサークル活動、6割強(64.9%)が一人での趣味活動に関心をもっている。また約2割(18.0%)が海外に出て暮らす準備をする、約1割(12.4%)がふるさとに帰る準備をするとしている。

5年後の収入のない活動



2005年11月 岩手県調査結果より作成

5年後の収入のある仕事以外の生き方



2004年3月 東京都調査結果より作成

④社会貢献意識

- ・ 55～59歳の男女の約7割(男性68.8%、女性67.5%)が、社会への貢献意識があるとしている。
- ・ 50歳代の男女の約7割(男性66.7%、女性70.6%)が、ボランティア活動に参加してみたいとしている。

社会への貢献意識

(単位:%)

性別	年代	ある	あまり 考えていない	わからない
男	40～44歳	63.0	32.7	4.3
	45～49歳	71.7	25.7	2.7
	50～54歳	63.9	33.3	2.8
	55～59歳	68.8	29.4	1.8
	60～64歳	70.0	28.3	1.7
	65～69歳	67.0	30.6	2.4
	70歳以上	59.3	38.6	2.0
女	40～44歳	69.3	26.7	4.0
	45～49歳	71.4	26.7	1.8
	50～54歳	69.6	29.2	1.2
	55～59歳	67.5	30.5	1.9
	60～64歳	62.3	33.6	4.1
	65～69歳	59.0	36.8	4.2
	70歳以上	45.6	49.6	4.8

出展:内閣府 HP「平成18年2月 社会意識に関する世論調査」

ボランティア活動への参加希望

(単位:%)

性別	年代	参加してみたい			参加して みたいと 思わない	わからない
		(小計)	ぜひ参加 してみたい	機会があれば 参加してみたい		
男	40～49歳	67.1	9.6	57.5	26	6.8
	50～59歳	66.7	10.6	56.1	28.7	4.6
	60～69歳	56.1	11.3	44.8	39	4.9
	70歳以上	37.8	6.1	31.7	56.9	5.3
女	40～49歳	75.6	13.3	62.4	20.8	3.6
	50～59歳	70.6	14.8	55.8	24.6	4.8
	60～69歳	60.7	13.6	47.2	33.3	6.0
	70歳以上	29.4	6.1	23.2	64.2	6.5

出展:内閣府 HP「平成17年5月 生涯学習に関する世論調査」

- ・参加してみたいボランティア活動として、50歳代の男性では、自然・環境保護活動(46.0%)、体育・スポーツ・文化活動(31.7%)、自主防災活動・災害援助活動(26.2%)に関心が高く、女性では、社会福祉活動に関心が高い(45.9%)。

参加してみたいボランティア活動

(単位：%)

性別	年代	自然・環境保護に関する活動	社会福祉に関する活動	体育・スポーツ・文化に関する活動	自主防災活動や災害援助活動	交通安全に関する活動	募金活動、チャリティーバザー	公共施設での活動	青少年健全育成に関する活動	人々の学習活動に関する指導の活動	国際交流(協力)に関する活動	保険・医療・衛生に関する活動	その他
男	40～49歳	41.5	20.4	41.5	23.1	15.0	8.2	6.8	12.2	12.2	15.0	3.4	0.7
	50～59歳	46.0	21.8	31.7	26.2	17.8	5.4	9.9	8.4	7.9	5.9	5.9	0.5
	60～69歳	48.2	26.4	26.4	24.4	23.8	10.4	9.8	11.4	12.4	8.8	5.2	1.6
	70歳以上	38.4	16.2	19.2	16.2	20.2	5.1	10.1	9.1	7.1	1.0	4.0	3.0
女	40～49歳	35.1	43.1	28.4	13.3	16.1	14.2	16.1	17.1	12.3	11.4	14.2	0.5
	50～59歳	36.5	45.9	17.9	9.8	9.8	15.9	15.9	4.1	11.8	8.1	11.8	2.0
	60～69歳	42.4	42.4	15.6	15.2	12.1	17.4	15.2	5.4	10.7	4.9	9.4	1.3
	70歳以上	32.6	27.9	16.3	11.6	9.3	19.8	10.5	3.5	12.8	2.3	1.2	1.2

出展：内閣府 HP「平成 17 年 5 月 生涯学習に関する世論調査」

- ・ 50 歳代の男女の約 5 割(男性 45.2%、女性 48.8%)が、NPO活動に参加したいとしている。
- ・ 男女とも、自然環境保護・リサイクル推進(男性 18.6%、女性 18.4%)、まちづくり・むらづくり(男性 19.1%、女性 12.4%)への関心が高い。
- ・ 男性に比べて女性の方が、福祉・介護分野への関心が高い(男性 9.0%、女性 26.4%)。

NPO 活動への参加意識・参加したい活動分野

(単位: %)

性別	年代	参加したいと思う											参加したいと思わない	
		(小計)	高齢者や障害者の福祉・介護	自然環境保護、リサイクル推進	まちづくり	まちづくり、スポーツの振興	文化・芸術	支援	子育てに対する	・救助	災害の予防	教育の推進、青少年の育成		治安、交通安全
男	40～49歳	48.9	9.4	14.4	16.5	12.2	5.0	14.4	5.8	9.4	5.8	-	43.2	
	50～59歳	45.2	9.0	18.6	19.1	9.0	1.5	10.1	9.5	7.0	3.5	1.5	48.2	
	60～69歳	43.3	11.1	15.7	17.1	7.4	4.1	11.1	5.5	8.8	2.8	0.5	50.7	
	70歳以上	35.1	11.9	10.6	9.9	7.3	2.0	7.3	6.0	6.6	5.3	2.0	59.6	
女	40～49歳	57.7	30.2	19.5	8.7	11.4	18.8	9.4	13.4	5.4	8.7	-	37.6	
	50～59歳	48.8	26.4	18.4	12.4	10.4	12.9	9.0	7.0	4.5	4.0	-	43.3	
	60～69歳	36.0	17.3	12.4	11.1	5.8	4.9	4.4	1.8	3.6	3.1	0.4	53.8	
	70歳以上	13.6	6.3	4.0	4.0	1.1	2.8	1.7	2.3	1.1	0.6	-	80.7	

出展: 内閣府 HP「平成 17 年 8 月 NPO(民間非営利組織)に関する世論調査」

- ・ NPO を選ぶ際、50 歳代男性は女性と比べて、自分の能力を発揮できること(45.6%)、行政と協力して活動を行なっていること(27.8%)を重視する割合が高い。
- ・ 50 歳代女性は男性と比べて、目的や活動内容が共感できること(70.4%)、活動の成果をあげていること(23.5%)を重視する割合が高い。

参加するNPOを選ぶ際に重視する点

(単位: %)

性別	年代	共感できること	目的や活動内容が	自分の能力を発揮	と	行政と協力して活	と	市民が自立して活	活動の成果をあげ	していること	多くの市民が参加	していること	一般によく知られて	積極的に情報発信	していること	その他
男	40～49歳	66.2	33.8	23.5	22.1	14.7	20.6	5.9	8.8	-						
	50～59歳	56.7	45.6	27.8	25.6	14.4	17.8	8.9	10.0	2.2						
	60～69歳	45.7	28.7	26.6	18.1	10.6	24.5	10.6	8.5	-						
	70歳以上	52.8	41.5	24.5	13.2	11.3	15.1	13.2	3.8	1.9						
女	40～49歳	77.9	25.6	25.6	19.8	16.3	25.6	15.1	9.3	-						
	50～59歳	70.4	30.6	18.4	19.4	23.5	15.3	10.2	13.3	-						
	60～69歳	51.9	30.9	21.0	21.0	18.5	12.3	13.6	7.4	1.2						
	70歳以上	37.5	41.7	20.8	16.7	4.2	12.5	12.5	8.3	-						

出展: 内閣府 HP「平成 17 年 8 月 NPO(民間非営利組織)に関する世論調査」

⑤関心のあること

- ・ 55～59歳の男女の7割弱(男性65.3%、女性67.0%)が、老後の生活設計について悩み・不安を持っている。
- ・ 男性に比べて女性の方が、自分の健康(53.4%)や、家族の健康(47.9%)についての悩み・不安の割合が高い。
- ・ 今後及び現在の収入や資産(各12.3%)、仕事や人間関係(12.7%)、事業・家業の経営(12.3%)に関する悩み・不安をもつ男性が、1割強となっている。

悩みや不安の内容

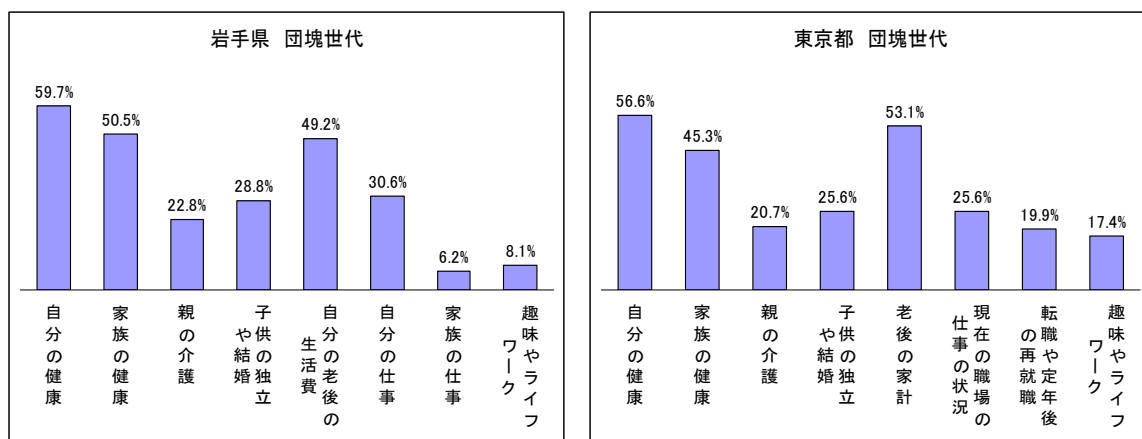
(単位:%)

性別	年代	老後の生活設計について	自分の健康について	家族の健康について	今後の収入や資産の見通しについて	現在の収入や資産について	家族の生活(進学, 就職, 結婚など)	自分の生活(進学, 就職, 結婚など)	勤務先での仕事や人間関係について	家族・親族間の人間関係について	事業や家業の経営上の問題について	近隣・地域との関係について	その他
男	40～44歳	51.3	42.3	37.2	19.9	19.9	13.5	8.3	19.9	9.6	13.5	8.3	1.3
	45～49歳	51.7	39.3	33.7	16.3	16.3	11.8	6.7	19.1	6.7	11.8	6.7	1.1
	50～54歳	62.1	47.5	40.6	10.0	10.0	11.4	5.5	13.7	7.3	11.4	5.5	0.9
	55～59歳	65.3	36.0	37.3	12.3	12.3	12.3	5.1	12.7	7.2	12.3	5.1	0.8
	60～64歳	58.6	57.3	39.3	6.7	6.7	10.0	5.0	3.3	7.5	10.0	5.0	0.8
	65～69歳	47.6	63.3	46.7	6.7	6.7	7.6	5.2	3.3	4.8	7.6	5.2	1.9
女	40～44歳	48.0	31.7	40.1	14.9	14.9	5.4	7.4	12.9	16.8	5.4	7.4	3.0
	45～49歳	57.6	43.8	47.5	12.4	12.4	7.4	6.0	12.9	12.9	7.4	6.0	0.5
	50～54歳	62.0	48.4	46.5	8.5	8.5	7.8	5.0	5.8	12.4	7.8	5.0	0.4
	55～59歳	67.0	53.4	47.9	6.8	6.8	8.4	7.4	4.9	10.4	8.4	7.4	1.3
	60～64歳	64.7	51.9	49.6	4.1	4.1	4.9	3.8	2.3	6.0	4.9	3.8	0.8
	65～69歳	51.6	63.0	52.4	4.8	4.8	4.8	6.2	1.5	9.2	4.8	6.2	2.2

出展:内閣府 HP「平成17年6月 国民生活に関する世論調査」

- ・ 地方部、都市部とも、生活の中では自分の健康(地方部59.7%、都市部56.6%)や家族の健康(地方部50.5%、都市部45.3%)に関すること、老後の生活費(地方部49.2%、都市部53.1%)に高い関心がある。

生活の中で関心のあること



2005年11月 岩手県調査結果、2004年3月 東京都調査結果より作成

- ・自由時間の過ごし方としては、55～59歳の男女とも、旅行に行くとした人の割合(男性 19.3%、女性 26.4%)が比較的高い。
- ・男性では、知人・友人と過ごすとした割合(13.3%)が、各年代の中で最も低い。
- ・女性では、地域活動や社会活動をするとした割合(11.3%)が、各年代の中で最も高い。

自由時間の過ごし方

(単位: %)

性別	年代	テレビを見たりする	ラジオを聞いたり、テレビを見たりする	趣味を楽しむ	のんびり休養する	新聞・雑誌などを読む	知人・友人と過ごす	家族との団らんを楽しむ	ショッピングに行く	運動やスポーツなど体を動かす	旅行に行く	パソコンや携帯電話での情報の閲覧	知識を吸収する	地域活動や社会活動をする	その他	わからない
男	40～44歳	50.2	39.1	46.2	32.4	14.7	44.9	15.1	26.2	13.3	31.6	4.9	2.7	0.9	-	
	45～49歳	45.8	42.1	44.2	25.0	18.3	29.6	11.3	25.8	10.8	20.0	8.3	6.3	0.4	0.4	
	50～54歳	54.7	41.9	38.9	31.2	17.4	26.2	13.1	20.8	15.1	13.1	5.4	4.7	2.3	0.7	
	55～59歳	51.0	42.7	42.1	36.3	13.3	23.9	11.2	22.2	19.3	13.3	6.3	4.9	0.9	0.6	
	60～64歳	62.2	39.4	36.4	41.7	19.2	25.0	11.1	24.7	17.5	13.3	6.9	10.0	2.2	1.1	
	65～69歳	60.6	45.1	36.6	45.1	19.9	24.9	12.6	20.8	21.5	8.5	8.5	11.4	5.0	0.3	
女	40～44歳	43.2	39.2	40.3	32.7	32.4	40.6	38.5	16.9	9.4	25.2	9.7	6.8	0.7	1.4	
	45～49歳	52.5	41.6	38.8	33.9	39.4	38.8	41.6	18.9	16.5	18.9	9.9	7.1	0.3	0.6	
	50～54歳	58.8	39.5	35.3	35.9	39.8	31.4	41.2	17.8	22.3	14.1	6.5	6.5	1.1	0.6	
	55～59歳	59.6	43.6	36.1	38.4	38.8	30.5	40.0	15.6	26.4	11.7	9.0	11.3	2.0	1.1	
	60～64歳	60.5	49.9	32.5	40.0	38.2	25.6	32.8	21.3	31.3	9.4	7.4	7.4	4.0	0.5	
	65～69歳	65.3	44.5	37.6	37.1	35.4	28.0	33.7	15.8	28.7	3.3	5.7	6.5	2.9	0.7	

出展: 内閣府 HP「平成 17 年 6 月 国民生活に関する世論調査」